

貯蔵施設の位置、構造等に関する事項
(販売所ごとに作成)

販売所名	電話 () -
販売所所在地	

貯蔵施設	
所在地	
面積	芯々 _____ m ² (内法 _____ m ²) ~ 小数点第2位まで記入のこと
貯蔵する量	最大 _____ k g
販売所からの距離	_____ m (販売所の敷地の 内 ・ 外)
管理人氏名	
管理人が常駐していない場合の措置	
保安物件との関係	第1種施設距離 $\ell_1 =$ _____ m (緩和措置なし) $\ell_2 =$ _____ m (障壁等の緩和措置あり) ~ 最も近い第1種保安物件 (名称 : _____) までの距離 : _____ m
	第2種施設距離 $\ell_3 =$ _____ m (緩和措置なし) $\ell_4 =$ _____ m (障壁等の緩和措置あり) ~ 最も近い第2種保安物件 (民家) までの距離 : _____ m

(備考) この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

貯蔵施設（続き）		
構造及び 付帯設備	屋根	材質等：
	壁	材質： 1. 鉄筋コンクリート 2. コンクリートブロック積 3. 鋼板製障壁 4. その他（ ）
		厚さ： _____ cm
		高さ： _____ cm（うち臥梁部分 _____ cm）
		配筋：直径 _____ mm（隅部 _____ mm） 間隔タテ _____ cm × ヨコ _____ cm
		ブロック積の場合：空洞部分の措置（ ） 鋼板製障壁の場合：鋼板の補強方法（ ）
	扉	1. 鋼板製障壁扉 2. 鋼板製甲種防火戸 3. その他（ ）
		扉寸法 幅 _____ cm × 高さ _____ cm × 厚さ _____ cm 補強材寸法 タテ _____ cm × ヨコ _____ cm 補強間隔 タテ _____ cm × ヨコ _____ cm
床	1. 平滑なコンクリート造り 2. その他（ ）	
換気設備	1. 換気口 2. その他（ ）	
	換気口の設置位置： ～ 下部換気口の大きさ、数：タテ _____ cm × ヨコ _____ cm × _____ヶ所 = _____ cm ² （必要最小面積： _____ cm ² ）	
転倒転落防止設備	1. チェーン掛け 2. その他（ ）	
消火設備	粉末消火器等（能力単位 A-、B-、C） _____本	
警戒標識	「LPガス貯蔵施設」・「火気厳禁」・「立入禁止」 「燃」・その他（ ）	

（備考）この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。